

# 明けましておめでとうござります

市民の皆様におかれましては、健康な新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は一昨年に続き新型コロナウイルスの影響により、極めて厳しい年となりました。災禍に見舞われた皆様にお悔みとお見舞いを申し上げますとともに、感染防止対策にご尽力をいただいた全ての皆様にご心からお礼申し上げます。

心配されたワクチン接種では、当初ご不便をおかけしましたが、2回接種された方は対象者の8割を超えることができました。幸いワクチン接種の進展とともに感染も減った中、新年を迎えることができ、安堵しているところでもあります。特にウイルスの変異に伴う新たな感染拡大も懸念されることから、医療従事者から順次、3回目のワクチン接種も実施してまいります。市民の皆様におかれましては、可能な限りワクチン接種をしていただければ幸いです。

まだまだ、コロナウイルスとの戦いは続きます。引き続き医療関係者をはじめ市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。市といたしましては、コロナ感染症と共生しながらも、安心して生活が出来るよう、今後も国の交付金事業をはじめ独自の対策や、ワクチン接種など展開してまいりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

結びに、一日も早いコロナ禍の収束を願うとともに、市民の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。

令和四年元旦

直方市長 大塚進弘



おおつか のぶひろ

直方市長 大塚進弘

# まちの話題



## 地域文化功労者表彰を受賞

11月2日、「古高取を伝える会」の東陽一ひがしやういちさんが、令和3年度地域文化功労者として表彰されたことを報告に、市長を表敬訪問しました。

地域文化功労者は、芸術文化の振興、文化財保護に尽力する等地域文化の振興に功績があった個人や団体を文部科学大臣が表彰するものです。東さんは市文化財専門委員会委員を15年以上務め、同会の監事も務めています。



幼少期より郷土史に興味を持ち、発掘調査などにも参加してきたという東さん。直方城下町を中心とした地区の文化財説明板設置や、高取焼開窯400年祭では千人茶会を成功に導く等、精力的に活動をされています。「僕のモットーは、仕事は楽しく、遊びは真剣に、ボランティアで地域に貢献の3つ。当たり前のことを、当たり前にしてきただけ」と話しました。

## いつまでも元気で丈夫な歯

11月5日、直方市在住の安永節子やすながせつこさんが「高齢者よい歯の表彰」で福岡県歯科医師会会長賞を受賞し、表彰式が行われました。この表彰は福岡県医師会が行う事業で、80歳になっても自分の歯を20本以上保つために行われる8020運動の一環です。安永さんは、1本の歯も欠けることなく、89歳の現在も28本の歯を保っています。そのうち治療した歯は4本のみという素晴らしい口内環境ですが、本人は特に特別なことはしていないそう。「歯は大切にしてください」と小さな頃から父親に言われていたようで、「特別なことを特別と思わず続けてきたことが、健康な歯を保つことに繋がっているのではないかと主治医は話しました。



## 二酸化炭素削減を達成した児童たちに証明書を授与

11月19日、上頓野小学校で市環境整備課の職員が4年生クラスに「環境カレンダー削減証明書」を授与しました。市内の小学4年生を対象とした環境学習の一環で、児童たちが7月21日から8月31日までの41日間、日常生活の中で二酸化炭素削減に取り組んだ実績を証明するものです。

上頓野小の4年生（72人）は、386,733グラムの二酸化炭素削減を達成。削減量をガソリン車の二酸化炭素排出走行距離に換算すると2,858キロメートルで、直方市を出発点とした直線距離で東京経由の青森市までを往復できる距離です。市職員は児童たちに「一人ひとりの力は小さいかもしれないが、集



まれば大きな力になる。この経験を活かしてエコ活動を続けて欲しい」と話しました。この取り組みを通して、仲間悠なかもゆうさんは、「CO<sub>2</sub>削減をやってみて、地球に良いことだと思った。ゲームの時間を10分減らす、というのが難しかったけど頑張りました」と話し、楽しんで取り組めたようです。

今回参加した児童には参加賞として、株式会社第一精工舎より寄贈された「もみ殻を原料とした鉛筆とボールペンのセット」が贈られました。